

◆今年もどうにか100号を突破！毎年、100号を超えれば、倉本 聡さんの詩を紹介している。2学期中間テストを頑張ったあなたに、心のごちそうとして…

今日だけを生きている若者がいる
明日を気にしている若者がいる
未来を考えている若者がいる

不安でいっぱいの子がいて
不安を忘れようとする若者がいる
不安と闘っている若者がいる

叱られたことのない若者がいる
愛したことのない若者がいる
信じたことのない若者がいる

やさしさを知らない若者がいる
やさしさを忘れた若者がいる
やさしさを誤解した若者がいる

闘いを避けている若者がいる
闘いを見るだけの若者がいる
闘いとびこむ若者がいる

敗北を知らない若者がいる
敗北を恐怖する若者がいる
敗北がいかに貴重かということを
考えようとしていない若者がいる

目的を持たない若者がいる
目的を探している若者がいる
目的に向かっている若者がいる

感動を知らない若者がいる
感動を知っている若者がいる
感動を求めている若者がいる

倉本聡とは -
脚本家／劇作家／演出家。
「富良野塾」主宰。
代表作
「6羽のかもめ」
「前略、おふくろさま」
「北の国から」
「君は海を見たか」

中間テストは、全力を尽
くせましたか？

あとは10月末からの修
学旅行を待つだけで
すが、日々の授業を大切に
し、家庭学習も怠ること
なく、地道な努力を続け
てくださいよ。

今日の一步が、
明日につながる。

座って待っている若者がいる
座っていれば誰かが与えてくれると
巢の中の雛のように待つ若者がいる
待っていても何も始まらないと
必死に跳ぼうとする若者がいる

そんな若者のせめて何人かに
今のこの俺がしてやれることは何か

倉本 聡

自分自身と向き合うこと (自照＝自分自身を客観的に冷静にみつめること)

◆今日2学期中間テストが終わった。この「倉本 聡」の詩を家に帰ってから寝る前にもう一度、一人で、静かに、静かに、ゆっくりとゆっくりと自分自身と照らし合わせながら、自分の心を見つめながら、3回読み直してください。

◆未来を考えない自分、不安をごまかす自分、頑張ると言うだけで努力しない自分、目的を持たない自分・・・心の風邪をひく理由は様々あるだろう（いつかは治るけど・・・）でも、こじらせると自己向上を休止させてしまう。違う言い方をすれば、自分を見つめることを休止させてしまう。

「自分を見つめること」「自分自身と語り合うこと」「感謝すること」
「やさしくあること」「思いやること」「自己向上すること」・・・がストップする

◆時々「風邪をひいて休止する方が楽だ」と勘違いをしてしまう生徒もいる。でも実際は、やっぱり風邪をひくとしんどい。そのしんどさをごまかす為に突っ張ったり、言葉が悪くなったり、人を威圧したり、注意されると屁理屈を並べて逆切れしたりも・・・する。また、そんな仲間を見て「うっ」と思う人もいれば、付和雷同する生徒もいる・・・

進路選択とは、このような様々な「自分自身の心」と「仲間の姿（心）」と向き合う事なのです。ただの「高校選び」だけじゃない。

『そんな若者のせめて何人かに 今のこの僕がしてやれることは何か』

格好良く言えば、今日一枚の進路指導通信をつくるだけ。
不安を取り除く方法は「自分が努力し、その努力を自覚する」以外に方法はない。
それ以外の方法は、自分を誤魔化し、努力から逃げているだけだ！！・・・
僕も偉そうなことは言えない人間だけどね

11月校内実力テストの準備はどう？9月が思わしくなかった生徒は、毎日の自主＜家庭＞学習から逃げずにしっかりと取り組めよ！

君はどんな若者になろうとしていますか・・・？